

令和5年7月1日現在

〈 (株)日光自然博物館 から県民のみなさまへ 〉

株式会社日光自然博物館は、栃木県立日光自然博物館、中禅寺湖畔国際避暑地記念施設、奥日光地区駐車場等の県有施設を指定管理者として管理運営しています。

上記の指定管理施設の管理運営に当たっては「日光国立公園の自然や文化の情報、知識を提供し、併せて観光産業の振興を図る」という設置目的を達成するため、過去に培ったノウハウを活かし、奥日光地区の他団体等と連携を図り、奥日光地区の地域振興、観光振興を目指してまいります。

令和5年7月 代表取締役 沼尾 正史

[法人の概要]

① 団体名	株式会社日光自然博物館					
② 設立年月日	昭和63年11月1日	③ 代表者	代表取締役社長 沼尾 正史			
④ 所在地等	日光市中宮祠2480番地1		電話 0288-55-0880			
⑤ 設立目的 事業内容	栃木県立日光自然博物館の管理運営を第三セクターに行わせることにより、民間活力の導入及び公共性の調和を図るとともに、弾力的な運営を可能とするために設立。 (事業内容) 1 受託事業 ①日光自然博物館管理運営業務 ②奥日光地区駐車場管理運営業務 ③駐車場周辺環境整備業務他 ④中禅寺湖畔国際避暑地記念施設管理運営業務 2 旅客自動車運送事業(低公害バス運行) 3 売店事業					
⑥ 基本財産 (資本)	総額	300,000千円				
	(内訳) 栃木県出資額	120,000千円	(40.0%)			
	東武鉄道(株)出資額	114,000千円	(38.0%)			
	日光市出資額	40,800千円	(13.6%)			
	足利銀行出資額	15,000千円	(5.0%)			
	その他	10,200千円	(3.4%)			
⑦ 役職員数	県OB	県派遣	県現職	他団体等	専任	合計
理事	1		1	5		7
常勤	1					1
非常勤			1	5		6
監事			1	1		2
常勤						0
非常勤			1	1		2
職員	1			3	27	31
常勤	1			3	27	31
非常勤						0
臨時						0
⑧ 常勤職員の 年齢構成	~20代	30代	40代	50代	60代~	平均年齢
	7	4	1	9	10	48.5才

[情報公開]

HP	URL : https://www.nikko-nsm.co.jp/
その他 (情報誌・SNS等)	ブログ 戦場ヶ原からこんにちは twitter・facebook・Instagram・YouTube

[監査等結果]

名称	実施年月日	結果
監査役監査	令和5年5月10日	適正
財政的援助団体等監査	令和4年12月20日	適正

[その他特記事項]

(市町その他との連携・業務効率化のためのICT活用など)

[主な事業の事業費・概要等] (千円、%)

事業名	R3	R4	事業概要
事業1 栃木県立日光自然博物館 管理運営費	53,511 22.9	53,618 23.4	栃木県立日光自然博物館の管理運営に係る業務
事業2 奥日光地区駐車場管理 運営費	37,844 16.2	39,294 17.2	奥日光地区駐車場の管理運営に係る業務
事業3 国際避暑地記念施設 管理運営費	6,631 2.8	8,114 3.5	国際避暑地記念施設の管理運営に係る業務
全体事業	234,023	228,911	

[財務指標]

	(%)	R2	R3	R4
自己資本比率	資本合計/負債資本合計×100	78.6	77.1	75.6
流動比率	流動資産合計/流動負債合計×100	2,342.5	1,229.5	975.4
有利子負債依存度	有利子負債/負債資本合計×100	8.3	8.5	7.3
売上高対販売・管理費比率	(販売費+管理費)/売上高×100	108.0	107.0	95.5
人件費比率	人件費/(販売費+管理費)×100	38.1	42.1	40.3
総資本経常利益率	経常利益/負債資本合計×100	-2.0	-3.4	2.7

[収支決算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)] (単位: 円)

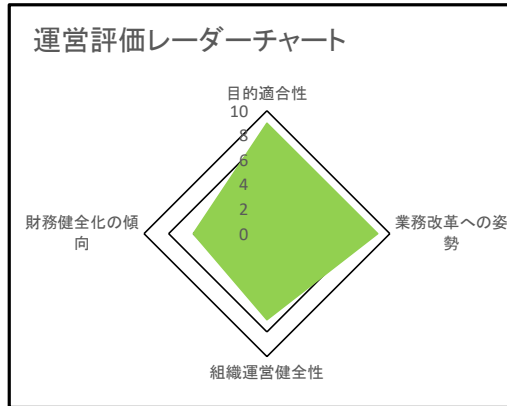
収入の部		支出の部	
営業収益	278,640,405	営業費用	271,278,896
指定管理業務受託収入	114,816,364	売上原価	5,194,454
管理料収入	2,628,987	販売費及び一般管理費	266,084,442
観覧料収入	8,577,120		
国際避暑地観覧料収入	19,029,171	営業外費用	478,680
ガイド料収入	9,915,946	特別損失	21
売店売上	9,959,353	法人税等	3,081,400
バス事業売上	22,713,622		
駐車場収入	90,108,658		
物品賃借料収入	171,000		
奥日光レンタサイクル事業	703,547		
イベント売上	15,545		
レジ袋売上	1,092		
営業外収益	6,520,143		
当期収入合計 (A)	285,160,548	当期支出合計 (C)	274,838,997
前期繰越収支差額	64,445,842	当期収支差額 (A-C)	10,321,551
収入合計 (B)	349,606,390	次期繰越収支差額 (B-C)	74,767,393

[貸借対照表 (令和5年3月31日現在)] (単位: 円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
流動資産	280,740,264	流動負債	28,782,109
現金	2,411,942	買掛金	74,055
預金	218,846,106	未払金	8,221,016
商品	6,253,963	未払費用	778,728
貯蔵品	1,519,579	未払法人税等	4,499,900
前払費用	134,310	預り金	1,140,014
未収入金	1,574,364	一年内返済長期借入金	3,816,000
有価証券	50,000,000	未払消費税	5,355,500
		賞与引当金	4,896,896
固定資産	214,800,164	固定負債	91,990,926
有形固定資産	12,821,395	長期借入金	36,184,000
無形固定資産	944,000	退職給付引当金	55,806,926
その他の資産	201,034,769		
		負債合計	120,773,035
		株主資本	300,000,000
		資本金	300,000,000
		利益剰余金	74,767,393
		(うち前期繰越利益)	64,445,842
		(うち当期利益)	10,321,551
		正味財産合計	374,767,393
資産合計	495,540,428	負債及び正味財産合計	495,540,428

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
目的適合性	5	9	10	90%
業務改革への姿勢	5	9	10	90%
組織運営健全性	5	7	10	70%
財務健全化の傾向	5	6	10	60%
合計	20	31	40	78%



目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
業務改革への姿勢	法人経営の方針や事業の実施目標等を設定し、それらに沿った運営を行っているか等
組織運営健全性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
財務健全化の傾向	法人の財務状況が健全化傾向にあるか

[自己評価]

前年度の法人運営についての自己評価 (振り返り)	新型コロナウイルスの行動制限が緩和されたことから、観光客の増加を見込まれ、各事業部門とも経費削減を念頭に置きつつ、経営の黒字化を目指して運営に当たった。結果、コロナ前の令和元年に対し、売上高は99.08%を達成した。決算状況についても3期ぶりの黒字決算となり、事業計画値を達成することができた。
事業実施上の課題 (主に目的適合性・業務改革の姿勢の評価を基に作成)	「日光国立公園を訪れる人々に自然や文化の情報を提供し、併せて、観光産業の振興を図るため日光自然博物館を設置する。」という当初の構想の下、各事業を運営しており、SNS発信や外国人に対する案内等も整備している。多様化するニーズに迅速かつ適切に対応していく必要がある
組織・財務上の課題 (主に組織運営健全性・財務健全化の傾向の評価を基に作成)	R2年度、R3年度は新型コロナウイルスによる行動制限等の影響があり2期連続で赤字決算となったが、行動制限解除によりR4年度は黒字決算となった。経営の黒字化を達成するためには、交通渋滞等の課題に対し、駐車場収入とバス事業等の自主事業の収益の確保が肝要となっている。
県現職派遣の理由、必要性の評価	県現職員の派遣無
課題に対する今後の取組の方向性	新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、更なる国内外の観光客増が見込めることから、奥日光地区駐車場及び日光自然博物館、国際避暑地記念施設、低公害バス路線等をホームページ、ブログ、SNS等を活用しながらPRし、利用増を目指す。また、ITの更なる活用や、経費削減にも取り組み、経営の安定性、健全性を強化していく。
得点率の推移	R4: 78% R5: — R6: —

〔所管部局評価〕

政策目標		日光国立公園を訪れる人々に自然や文化の情報を提供し、併せて観光産業の振興を図る。	
役割分担	県の役割	政策目標達成のため、関係機関と連携を図りながら総合的に施策を進める。	
	法人に期待する役割	日光国立公園を訪れる人々にその自然や歴史文化に関する正確な情報と専門的な知識を提供するとともに、観光産業の振興に寄与すること。	
財政 （千円） 支出状況	区分	令和5年度予算額	令和4年度決算額
	補助・交付金		3,400
	委託料	124,200	126,298
	貸付金		
	その他		
	計	124,200	129,698

施設名	管理運営状況評価(R3)				
	A	B	C	D	E
栃木県立日光自然博物館 栃木県奥日光地区駐車場 栃木県中禅寺湖畔国際避暑地記念施設		6	15	1	

締結状況 （指定 管理除く）	主要委託契約	契約件名	契約締結の方法	指名競争入札又は随意契約とした理由	R4契約金額(千円)	効果測定指標	目標値	実績			効果測定
								R2	R3	R4	
		該当なし									

主要補助事業	事業名	事業概要	R4補助金額(千円)	効果測定指標	目標値	実績			効果測定
						R2	R3	R4	
	エネルギー価格高騰対策指定管理者支援金	—	3,400	—	—	—	—	—	—

今後の連携・見直し方針	引き続き効率的な管理運営及び経費の削減に努めるとともに、地域と連携した業務運営に努めるよう指導していく。今後も、奥日光地域の誘客促進に向け、利用者のニーズに的確に対応したサービス提供に努めるとともに、関係機関等と連携し、運営に努めるよう指導していく。
-------------	---

法人の自己評価に対する意見	<p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響が徐々に回復する中、当期売上高が、新型コロナウイルス流行前の令和元年の売上高に対し、99.08%となった。当期純利益は10,321千円となり3期ぶりに黒字となり、ほぼコロナ前の水準に回復している。特に、自然解説部門については、近年の自然回帰の傾向や、環境に対する意識の高まりなど、多様なニーズを捉え、個人向けにも多様な自然観察会、ガイドツアーを開催している。</p> <p>インバンド回復等による更なる観光客の増加や旅行客のニーズの変化が予想されることから、関係機関や地域と協力しながら、効率的かつ効果的な事業のあり方を検討されたい。</p>
県が期待する役割の達成	A

〔総合評価〕

〔R4行革委員会報告書（個別法人に対する評価等・継続検討項目以外）〕

A	<p>総合的所見</p> <p>コロナ禍の影響から回復の兆しが見られ、3期ぶりの黒字決算となった。今後も、インバウンドを中心に、更なる観光客数の増加が見込まれることから、観光客の状況やニーズを的確に捉えた新たな事業の実施に加え、環境省などの関係機関や地域と連携した企画の実施など効果的な事業展開に努められたい。</p>	<p>▶見直し方針に順調に対応してきたが、今後とも新たな事業展開等による自立運営に努める必要がある。</p> <p>▶近年の感染症の拡大等の不測の事態においても収入を確保できるよう、デジタル技術の積極的活用等の創意工夫が必要である。</p>
指摘事項	なし	